



今月のこの1冊

新・御宿かわせみ

深川の外れ、大川端に建つ旅籠「御宿かわせみ」。お馴染みの神林東吾やるいの活躍により江戸後期の市井の事件を解決していたのは「浮かれ黄蝶」まで。

この「新・御宿かわせみ」からは、いよいよ明治時代に時が

移り、登場人物もすっかり世代交代となった。維新の激動の中で世相や風俗が変わっていくなか、大川端は江戸の名残をとどめている。そのなかを、東吾の実子麻太郎や源三郎の遺子源太郎らが新たな人生を歩み出す。

平岩弓枝著



【開室時間】火～金曜日 10:00～20:30/土・日曜日・祝日(29日) 10:00～17:00
【休室日】毎週月曜日、特別整理期間4/15～18
※貸し出し冊数は4冊まで、期限は2週間です

新しく購入した図書（主なもの）

★一般書★

- 「なげださない」
- 「福袋」
- 「ドラゴン 飼い方育て方」 ジョン・トプセル
- 「至福の園芸」
- 「オブ・ザ・ベースボール」
- 「そうか、もう君はいないのか」
- 「乳と卵」

鎌田 實
角田光代
江尻光一
円城 塔
城山三郎
川上未映子

★児童書★

- 「まゆとりゅう」
- 「ひみつのひきだしあけた？」 やまわきゆりこ
- 「宇宙への秘密の鍵」 ルーシー・ホーキング
- 「てをつなご。」
- 「フュージョン」

降矢なな
植田 真
濱野京子

みんな集まれ！子どもの広場・おはなし会

◇子どもの広場

内容 「ふしぎな笛」をつくります
持ち物 油性マジック、はさみ
日時 4月23日(水)15:00～
場所 町民センター2階小会議室A
申し込みは直接図書室へまたは☎82-5221

◇おはなし会（第2土曜日、第3水曜日）

日時 4月12日(土)10:30～
4月16日(水)15:00～
場所 町民センター3階図書室
申し込みはいりません。

我が家のおペット紹介 No.44

散歩が好きで人懐っこくてマイペース。だから、ほかの犬がほえてる知らないぶり。大きな音が苦手なラン(黒柴・2歳)です。



北野 寿さん宅(内中)

ペットのふんは飼い主さんが責任を持って持ち帰りましょう!

ご自宅のペットを紹介しませんか?
募集中です。詳しくは企画政策課まで。
☎ 84-0312

*文芸

俳句 ともしひ短歌会

梅の木の根元に繁る水仙は
寒風にたえ花を咲かせたり

たんばばの絵本の世界ひとり居り
たんばばや幼児に笑みもらいおり

江の島や陰蒼茫と春の嵐
涅槃西風庭ぐるぐると子の駆けて

贈る人の顔を浮かべつつ手編みする
肩こり忘れ時もわすれて

桃色椿の一輪ひらく

冬ぞれの庭にも確かに息吹あり

府川 ハツエ

諸星 末子

山本 喜美子

湊 きみ子

下沢 操子

伊与田 茂選

遠藤 まつ子

鳥海 美代子

芝田 みち子選

休日の陽ざしのどかに朝寝かな
寒風にたえ花を咲かせたり

たんばばの絵本の世界ひとり居り
たんばばや幼児に笑みもらいおり

江の島や陰蒼茫と春の嵐
涅槃西風庭ぐるぐると子の駆けて

贈る人の顔を浮かべつつ手編みする
肩こり忘れ時もわすれて

桃色椿の一輪ひらく

冬ぞれの庭にも確かに息吹あり

府川 ハツエ

諸星 末子

山本 喜美子

湊 きみ子

下沢 操子

伊与田 茂選

遠藤 まつ子

鳥海 美代子

芝田 みち子選

梅の木の根元に繁る水仙は
寒風にたえ花を咲かせたり

たんばばの絵本の世界ひとり居り
たんばばや幼児に笑みもらいおり

江の島や陰蒼茫と春の嵐
涅槃西風庭ぐるぐると子の駆けて

贈る人の顔を浮かべつつ手編みする
肩こり忘れ時もわすれて

桃色椿の一輪ひらく

冬ぞれの庭にも確かに息吹あり

府川 ハツエ

諸星 末子

山本 喜美子

湊 きみ子

下沢 操子

伊与田 茂選

遠藤 まつ子

鳥海 美代子

芝田 みち子選

梅の木の根元に繁る水仙は
寒風にたえ花を咲かせたり

たんばばの絵本の世界ひとり居り
たんばばや幼児に笑みもらいおり

江の島や陰蒼茫と春の嵐
涅槃西風庭ぐるぐると子の駆けて

贈る人の顔を浮かべつつ手編みする
肩こり忘れ時もわすれて

桃色椿の一輪ひらく

冬ぞれの庭にも確かに息吹あり

府川 ハツエ

諸星 末子

山本 喜美子

湊 きみ子

下沢 操子

伊与田 茂選

遠藤 まつ子

鳥海 美代子

芝田 みち子選

梅の木の根元に繁る水仙は
寒風にたえ花を咲かせたり

たんばばの絵本の世界ひとり居り
たんばばや幼児に笑みもらいおり

江の島や陰蒼茫と春の嵐
涅槃西風庭ぐるぐると子の駆けて

贈る人の顔を浮かべつつ手編みする
肩こり忘れ時もわすれて

桃色椿の一輪ひらく

冬ぞれの庭にも確かに息吹あり

府川 ハツエ

諸星 末子

山本 喜美子

湊 きみ子

下沢 操子

伊与田 茂選

遠藤 まつ子

鳥海 美代子

芝田 みち子選

梅の木の根元に繁る水仙は
寒風にたえ花を咲かせたり

たんばばの絵本の世界ひとり居り
たんばばや幼児に笑みもらいおり

江の島や陰蒼茫と春の嵐
涅槃西風庭ぐるぐると子の駆けて

贈る人の顔を浮かべつつ手編みする
肩こり忘れ時もわすれて

桃色椿の一輪ひらく

冬ぞれの庭にも確かに息吹あり

府川 ハツエ

諸星 末子

山本 喜美子

湊 きみ子

下沢 操子

伊与田 茂選

遠藤 まつ子

鳥海 美代子

芝田 みち子選

梅の木の根元に繁る水仙は
寒風にたえ花を咲かせたり

たんばばの絵本の世界ひとり居り
たんばばや幼児に笑みもらいおり

江の島や陰蒼茫と春の嵐
涅槃西風庭ぐるぐると子の駆けて

贈る人の顔を浮かべつつ手編みする
肩こり忘れ時もわすれて

桃色椿の一輪ひらく

冬ぞれの庭にも確かに息吹あり

府川 ハツエ

諸星 末子

山本 喜美子

湊 きみ子

下沢 操子

伊与田 茂選

遠藤 まつ子

鳥海 美代子

芝田 みち子選

梅の木の根元に繁る水仙は
寒風にたえ花を咲かせたり

たんばばの絵本の世界ひとり居り
たんばばや幼児に笑みもらいおり

江の島や陰蒼茫と春の嵐
涅槃西風庭ぐるぐると子の駆けて

贈る人の顔を浮かべつつ手編みする
肩こり忘れ時もわすれて

桃色椿の一輪ひらく

冬ぞれの庭にも確かに息吹あり

府川 ハツエ

諸星 末子

山本 喜美子

湊 きみ子

下沢 操子

伊与田 茂選

遠藤 まつ子

鳥海 美代子

芝田 みち子選

梅の木の根元に繁る水仙は
寒風にたえ花を咲かせたり

たんばばの絵本の世界ひとり居り
たんばばや幼児に笑みもらいおり

江の島や陰蒼茫と春の嵐
涅槃西風庭ぐるぐると子の駆けて

贈る人の顔を浮かべつつ手編みする
肩こり忘れ時もわすれて

桃色椿の一輪ひらく

冬ぞれの庭にも確かに息吹あり

府川 ハツエ

諸星 末子

山本 喜美子

湊 きみ子

下沢 操子

伊与田 茂選

遠藤 まつ子

鳥海 美代子

芝田 みち子選

梅の木の根元に繁る水仙は
寒風にたえ花を咲かせたり

たんばばの絵本の世界ひとり居り
たんばばや幼児に笑みもらいおり

江の島や陰蒼茫と春の嵐
涅槃西風庭ぐるぐると子の駆けて

贈る人の顔を浮かべつつ手編みする
肩こり忘れ時もわすれて

桃色椿の一輪ひらく

冬ぞれの庭にも確かに息吹あり

府川 ハツエ

諸星 末子

山本 喜美子

湊 きみ子

下沢 操子

伊与田 茂選

遠藤 まつ子

鳥海 美代子

芝田 みち子選

梅の木の根元に繁る水仙は
寒風にたえ花を咲かせたり

たんばばの絵本の世界ひとり居り
たんばばや幼児に笑みもらいおり

江の島や陰蒼茫と春の嵐
涅槃西風庭ぐるぐると子の駆けて

贈る人の顔を浮かべつつ手編みする
肩こり忘れ時もわすれて

桃色椿の一輪ひらく

冬ぞれの庭にも確かに息吹あり

府川 ハツエ

諸星 末子

山本 喜美子

湊 きみ子

下沢 操子

伊与田 茂選

遠藤 まつ子

鳥海 美代子

芝田 みち子選

梅の木の根元に繁る水仙は
寒風にたえ花を咲かせたり

たんばばの絵本の世界ひとり居り
たんばばや幼児に笑みもらいおり

江の島や陰蒼茫と春の嵐
涅槃西風庭ぐるぐると子の駆けて

贈る人の顔を浮かべつつ手編みする
肩こり忘れ時もわすれて

桃色椿の一輪ひらく

冬ぞれの庭にも確かに息吹あり

府川 ハツエ

諸星 末子

山本 喜美子

湊 きみ子

下沢 操子

伊与田 茂選

遠藤 まつ子

鳥海 美代子

芝田 みち子選

梅の木の根元に繁る水仙は
寒風にたえ花を咲かせたり

たんばばの絵本の世界ひとり居り
たんばばや幼児に笑みもらいおり

江の島や陰蒼茫と春の嵐
涅槃西風庭ぐるぐると子の駆けて

贈る人の顔を浮かべつつ手編みする
肩こり忘れ時もわすれて

桃色椿の一輪ひらく

冬ぞれの庭にも確かに息吹あり

府川 ハツエ

諸星 末子

山本 喜美子

湊 きみ子

下沢 操子

伊与田 茂選

遠藤 まつ子

鳥海 美代子

芝田 みち子選

梅の木の根元に繁る水仙は
寒風にたえ花を咲かせたり

たんばばの絵本の世界ひとり居り
たんばばや幼児に笑みもらいおり

江の島や陰蒼茫と春の嵐
涅槃西風庭ぐるぐると子の駆けて

贈る人の顔を浮かべつつ手編みする
肩こり忘れ時もわすれて

桃色椿の一輪ひらく

冬ぞれの庭にも確かに息吹あり

府川 ハツエ

諸星 末子

山本 喜美子

湊 きみ子

下沢 操子

伊与田 茂選

遠藤 まつ子

鳥海 美代子

芝田 みち子選

梅の木の根元に繁る水仙は
寒風にたえ花を咲かせたり

たんばばの絵本の世界ひとり居り
たんばばや幼児に笑みもらいおり

江の島や陰蒼茫と春の嵐
涅槃西風庭ぐるぐると子の駆けて

贈る人の顔を浮かべつつ手編みする
肩こり忘れ時もわすれて

桃色椿の一輪ひらく

冬ぞれの庭にも確かに息吹あり

府川 ハツエ

諸星 末子

山本 喜美子

湊 きみ子

下沢 操子

伊与田 茂選

遠藤 まつ子

鳥海 美代子

芝田 みち子選

梅の木の根元に繁る水仙は
寒風にたえ花を咲かせたり

たんばばの絵本の世界ひとり居り
たんばばや幼児に笑みもらいおり

江の島や陰蒼茫と春の嵐
涅槃西風庭ぐるぐると子の駆けて

贈る人の顔を浮かべつつ手編みする
肩こり忘れ時もわすれて

桃色椿の一輪ひらく

冬ぞれの庭にも確かに息吹あり

府川 ハツエ

諸星 末子

山本 喜美子

湊 きみ子

下沢 操子

伊与田 茂選

遠藤 まつ子

鳥海 美代子

芝田 みち子選

梅の木の根元に繁る水仙は
寒風にたえ花を咲かせたり

たんばばの絵本の世界ひとり居り
たんばばや幼児に笑みもらいおり

江の島や陰蒼茫と春の嵐
涅槃西風庭ぐるぐると子の駆けて

贈る人の顔を浮かべつつ手編みする
肩こり忘れ時もわすれて

桃色椿の一輪ひらく

冬ぞれの庭にも確かに息吹あり

府川 ハツエ

諸星 末子

山本 喜美子

湊 きみ子

下沢 操子

伊与田 茂選

遠藤 まつ子

鳥海 美代子

芝田 みち子選

梅の木の根元に繁る水仙は
寒風にたえ花を咲かせたり

たんばばの絵本の世界ひとり居り
たんばばや幼児に笑みもらいおり

江の島や陰蒼茫と春の嵐
涅槃西風庭ぐるぐると子の駆けて

贈る人の顔を浮かべつつ手編みする
肩こり忘れ時もわすれて

桃色椿の一輪ひらく

冬ぞれの庭にも確かに息吹あり

府川 ハツエ

諸星 末子

山本 喜美子

湊 きみ子

下沢 操子

伊与田 茂選

遠藤 まつ子

鳥海 美代子

芝田 みち子選

梅の木の根元に繁る水仙は
寒風にたえ花を咲かせたり

たんばばの絵本の世界ひとり居り
たんばばや幼児に笑みもらいおり

江の島や陰蒼茫と春の嵐
涅槃西風庭ぐるぐると子の駆けて

贈る人の顔を浮かべつつ手編みする
肩こり忘れ時もわすれて

桃色椿の一輪ひらく

冬ぞれの庭にも確かに息吹あり

府川 ハツエ

諸星 末子

山本 喜美子

湊 きみ子

下沢 操子

伊与田 茂選

遠藤 まつ子

鳥海 美代子

芝田 みち子選

梅の木の根元に繁る水仙は
寒風にたえ花を咲かせたり

たんばばの絵本の世界ひとり居り
たんばばや幼児に笑みもらいおり

江の島や陰蒼茫と春の嵐
涅槃西風庭ぐるぐると子の駆けて

贈る人の顔を浮かべつつ手編みする
肩こり忘れ時もわすれて

桃色椿の一輪ひらく

冬ぞれの庭にも確かに息吹あり

府川 ハツエ

諸星 末子

山本 喜美子

湊 きみ子

下沢 操子

伊与田 茂選

遠藤 まつ子

鳥海 美代子

芝田 みち子選

梅の木の根元に繁る水仙は
寒風にたえ花を咲かせたり

たんばばの絵本の世界ひとり居り
たんばばや幼児に笑みもらいおり

江の島や陰蒼茫と春の嵐
涅槃西風庭ぐるぐると子の駆けて

贈る人の顔を浮かべつつ手編みする
肩こり忘れ時もわすれて

桃色椿の一輪ひらく

冬ぞれの庭にも確かに息吹あり

府川 ハツエ

諸星 末子

山本 喜美子

湊 きみ子

下沢 操子

伊与田 茂選

遠藤 まつ子

鳥海 美代子

芝田 みち子選

梅の木の根元に繁る水仙は
寒風にたえ花を咲かせたり

たんばばの絵本の世界ひとり居り
たんばばや幼児に笑みもらいおり

江の島や陰蒼茫と春の嵐
涅槃西風庭ぐるぐると子の駆けて

贈る人の顔を浮かべつつ手編みする
肩こり忘れ時もわすれて

桃色椿の一輪ひらく

冬ぞれの庭にも確かに息吹あり

府川 ハツエ

諸星 末子

山本 喜美子

湊 きみ子

下沢 操子

伊与田 茂選

遠藤 まつ子

鳥海 美代子

芝田 みち子選

梅の木の根元に繁る水仙は
寒風にたえ花を咲かせたり

たんばばの絵本の世界ひとり居り
たんばばや幼児に笑みもらいおり

江の島や陰蒼茫と春の嵐
涅槃西風庭ぐるぐると子の駆けて

贈る人の顔を浮かべつつ手編みする
肩こり忘れ時もわすれて

桃色椿の一輪ひらく

冬ぞれの庭にも確かに息吹あり

府川 ハツエ

諸星 末子

山本 喜美子

湊 きみ子

下沢 操子

伊与田 茂選

遠藤 まつ子

鳥海 美代子

芝田 みち子選

梅の木の根元に繁る水仙は
寒風にたえ花を咲かせたり</p